

2024年12月
(No.117)

あこう社協だより



令和6年度福祉作文入選者決定……………	2 P
福祉作文大賞作品紹介（小学生の部）……………	3 P
まち発見！あこう福祉ニュース……………	4 P
ひきこもり支援のご案内……………	6 P
各種おしらせ……………	7 P
歳末たすけあい運動……………	8 P

11月24日（日）「第40回しあわせフェスティバル～フクシふれあいまつり～」(NPO法人赤穂ボランティア協会共催)を開催し、約2000人が来場しました。

屋外でのステージ催しや模擬店飲食コーナー、ふわふわ遊具コーナー、屋内では、展示や体験ブース、体験スタンプラリーなどを通して「福祉」に触れ、「ボランティアの輪」を広げる機会となりました。

令和6年度 福祉作文 入選者決定！

身近な福祉活動をテーマにした作文を募集したところ、小学生・中学生・高校生および一般市民より、計228点の応募をいただきました。慎重な審査の結果、次の方々が入選され、12月7日（土）に開催する「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上で、以下の方々表彰されます。（当日は、各部大賞・特選・入選者のみ表彰）

※敬称略

【小学生の部】

大賞

きたむら そら
北村 蒼空（高雄小5年）

特選

かめい はやて
亀井 颯土（尾崎小6年）

入選

すぎたに みれい
杉谷 心嶺（赤穂小3年）

たかまつ みさき
高松 実咲（城西小6年）

佳作

にしやま ほまれ
西山 誉令（赤穂小3年）

こばやし れんと
小林 蓮采（城西小3年）

しまだ まお
島田 真緒（塩屋小6年）

やまだ ひろき
山田 紘輝（赤穂西小6年）

くずしま くるみ
葛島 徠笑（尾崎小6年）

わだ こうが
和田 虎臥（御崎小5年）

いわもと そら
岩元 優空（坂越小4年）

もりた みやび
守田 雅（高雄小5年）

えんどう あかね
遠藤 朱音（有年小5年）

まつもと かいり
松本 海俐（原小6年）

【中学生の部】

大賞

しばはら さち
柴原 幸（赤穂西中1年）

特選

おが あいこ
小賀 葵子（赤穂東中3年）

入選

ひらおか ゆめ
平岡 ゆめ（赤穂西中3年）

なかの そうすけ
中野 創介（赤穂東中3年）

佳作

ふるばやし れあ
旧林 怜愛（赤穂中3年）

あかまつ れな
赤松 玲那（赤穂西中1年）

あだち めい
安達 萌生（赤穂東中3年）

おかべ りく
岡部 吏玖（坂越中1年）

くわはら あおい
桑原 碧彩（有年中2年）

【高校生以上の部】

大賞

かげやま えいた
蔭山 瑛大（赤穂高1年）

特選

やまだ さわ
山田 紗羽（赤穂高2年）

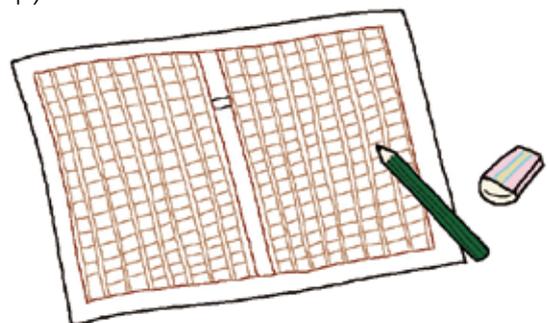
入選

おおぞの かか
大園 かか（赤穂高1年）

あかし はるお
明石 春夫（一般）

佳作

かわさき あいさ
川崎 愛紗（赤穂高2年）



ご応募いただいた皆さまには、深く感謝申し上げます。入賞作品については福祉作文集にまとめ、市内の学校や福祉施設、医療機関へお届けするほか、福祉会館でも配布し、広く福祉活動の場で活用させていただきます。小学生の部大賞作品を次ページに掲載しています。他部大賞作品は、次月以降に掲載します。そちらもぜひご覧ください。

大賞作品紹介

小学生の部大賞

知る事

高雄小学校5年 北村 蒼空



ぼくのお兄ちゃんは、赤穂特別支援学校に通っています。だから、参観日や運動会や学習発表会の時には、ぼくも家族といっしょに見に行きます。

赤穂特別支援学校の様子と、ぼくの通っている高雄小学校の様子は、少しちがいます。赤穂特別支援学校の授業では、先生も子どもも、みんなの前に出て話す時は手話をしながら話しています。ぼくのお兄ちゃんも手話ができます。どうして手話を使って話すかというと、耳の聞こえない子やおしゃべりが苦手な子がいるからです。ぼくは、学校の障がい者体験学習で、3年生の時に、手話の勉強をしました。でも、もうわすれてしまっています。だから、耳の聞こえない方と話すことがむずかしいです。ぼくのお兄ちゃんのお友達に、耳の聞こえない子がいます。お兄ちゃんは、その子と話をしたりいっしょに楽しく遊ぶことができます。でもぼくはできません。色々な障がいでおしゃべりが苦手なお友達とは、お兄ちゃんは手話やボディランゲージでおしゃべりしています。でもぼくはできません。お兄ちゃんは、どんなお友達とでもコミュニケーションがとれてすごいなと思うし、うらやましいです。ぼくも、どんな障がいを持った人とでも、楽しくコミュニケーションをとれるようになりたいです。

障がいを持った方と関わることは初めはとてもドキドキします。それはどうしてか考えると、その人の障がいのことを全く知らなくて、関わり方や、方法がわからないからだと考えました。実際に支援学校でお友達がぼくに声をかけてきても、どう関わったら良いのかわからなくて、困ってしまう時があります。何も言うことができず無視をしてしまって申し訳ないという気持ちに

なります。そんな時お兄ちゃんはぼくに、その子が何を言っているのか教えてくれるし、わからなかったら、「もう一回言って。」と聞き直しています。それができるのは、毎日学校でいっしょに生活していて、その子のことをよく知っているからだと思います。色々な障がいを持っている方とたくさんコミュニケーションをとるには、その人たちのことをよく知るということが一番大切だと感じました。

お兄ちゃんとぼくは、ずっといっしょに生活しているので、ぼくは、お兄ちゃんのことをよく知っています。だからお兄ちゃんに関わる時に困ることはないし、特別だと思ったこともありません。でも、お兄ちゃんのことをよく知らない近所の友達が「かけ算してみ。」とか、「わり算してみ。」と、いじわるを言ってきたり、公園にいっしょに行くと、「お前は病院に行っとけや。」と言ってきたりします。ぼくは、とてもはらが立って「何言っとん！！意味わからん！！」と思います。でも、それはやっぱりその言ってくる子が、お兄ちゃんのことをよく知らないからなのだと考えました。知らないから、どんな言葉をかけてどうやっていっしょに遊んだら良いのかわからないのだと思いました。

障がいを持っている人も持っていない人もおたがいのことを良く知っていくことで、どんな人がどんな人とも楽しく気持ち良く関わっていける社会をつくることができそうだなと思いました。だからぼくはこれからは学校での障がい者体験学習をもっと真剣に取り組んでいたり、機会があれば、障がいを持った方とどんどん積極的に関わり、たくさんを知っていききたいです。



まち発見！ あこう福祉ニュース



音楽でボランティア♪

11月2日（土）、「音楽ボランティア養成講座」を開催し、講師指導の下、ウクレレ、カリンバなどを使用した体操やゲームを体験しました。音楽レクリエーションは脳のトレーニングとして、認知症予防になります。



みんなで、おじゃビンゴ！

11月9日（土）、坂越を元気にする会主催で「おじゃビンゴ大会」が開催され、おじゃみ（お手玉）をビンゴのマスのマスに投げ、枠内に入った点数を競いました。時には真剣、時にはワイワイ、楽しいひと時を過ごしました。



思い出と体験がお土産

10月29日（火）、「在宅重度心身障がい者（児）激励事業」で、淡路島へ出かけました。うずしおクルーズやお香作り体験に参加し、お土産と思いでたくさん持って帰りました。



誰でも楽しめる交流の場を

11月3日（日）、高雄地区ふるさとまつりにて、モルック体験ブースを設置しました。これは、地区懇談会で出た意見をもとに、社協がお手伝いしたものです。今後、地域での開催に向け、住民の方と一緒に進めていきます。



よく狙ってナイスショット

11月9日（土）、第29回福祉ふれあいグラウンドゴルフ大会が開催されました。参加者は障がいの有無に関わらず、お互いに協力・応援し合い、秋晴れのもと爽やかな汗を流しました。



笑顔あふれる卓球大会

11月16日（土）、赤穂卓球クラブ主催「第一回赤穂ふれあい卓球大会」が開催され、卓球初心者や小さい子どもも参加し、試合や紙コップ的当てなどのゲームを通じて、楽しく交流しました。



みんなで語る地域の未来

11月18日（月）、有年中学校で懇談会が開催され、生徒と地区住民が、自分の住んでいる自治会について、率直な思いを話し合いました。今後の地域活動への気付きやアイデアも出され、有意義な時間でした。



兵庫県知事表彰

後藤 和子さん（尾崎） 写真左

社会福祉協議会の役員として、永年にわたり勤続し、社会福祉活動の向上と充実に顕著な功績をあげられました。

勝田 三好さん（城西） 写真中央

山田 和子さん（塩屋） 写真右
共同募金委員会の委員として、永年にわたり勤続し、共同募金運動の向上と充実に顕著な功績をあげられました。



レクリエーションボランティア養成講座

ペーパークラフト体験ができます！
集中力の向上や認知症予防など様々な効果があり、
楽しく学ぶことができます♪



ペーパークラフトは、紙を素材として立体物を作成する立体模型です。

- ◆ 日 時：令和7年1月21日（火）
午前10時～11時30分
- ◆ 場 所：総合福祉会館 3階集会室
- ◆ 定 員：20名（市民優先）
- ◆ 講 師：兵庫県レクリエーション協会
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 準備物：はさみ・のり
- ◆ 申込締切：1月14日（火）
- ◆ 問い合わせは下記まで



赤穂市における、ひきこもり支援のご案内

ひきこもりとは

仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流がほとんどなく、社会的に孤立し、孤独を感じている人や、さまざまな生きづらさを抱えている状態をいいます。必ずしも全く家から出られない方ばかりではなく、買物に行くことができる方など、実態はさまざまです。

赤穂市ひきこもり対策推進事業

行政と社協で協働し、事業を推進しています。その内容は右記の3つの柱があり、相談窓口の設置や当事者の居場所づくり、市民の理解促進のための啓発活動に分かれ、生きがいを見つける居場所を、自ら選べるようお手伝いしています。

相談支援

居場所づくり

啓発活動

あなたの「きもち」を応援

社会福祉課相談窓口「え～る」

赤穂市では、ひきこもりの相談以外にも、「生活費に困っている」「仕事が長続きしない」などのさまざまな困りごとについて、お話を聴き、適切な支援につながるお手伝いをする窓口を設置しています。

そこでは、生活困窮者のうち、就労に向けた準備が整っていない方を対象に、自立に向けた訓練をしています。



● 連絡先

- ・生活困窮者自立相談
(ひきこもり含む生活全般)
TEL 0791-43-6986
- ・障がい者基幹相談支援センター
TEL 0791-43-6837
- メール(共通)hogo@city.ako.lg.jp

自分らしく過ごせる居場所

みんなのいえ

みんなのいえは、外出しづらい、社会と関わることに不安があるなどの状態の方、またはその家族がホッとひと息ついたり、自分の家のように自由に過ごすことができる“地域の居場所”です。毎月第4木曜には「家族のつどい」、不定期でカフェや女子会などを企画し、利用者同士が交流する機会を設けています。毎月通信を発行し、社協SNSにて発信しているので、ぜひご覧ください。

- 日 時：毎週月～金（祝日・年末年始を除く）
午後1時～4時

- 場 所：赤穂市塩屋 656-17(旧塩屋郵便局近く)
- ※予約不要、出入り自由、見学随時可能



料理や小物づくり、野菜づくりなど、
やってみたいことのお手伝いをします！
ゆっくりできる、離れもありますよ～♪



介護保険について考えよう！ ヘルパー編

●訪問介護（ホームヘルプ）とは？

利用者の“できないこと”を手伝い、その人が『自分らしい生活』を送れるよう、“できること”を増やしていく支援です。



～デイサービス（以下、デイ）へ行く準備に困っている方のサービス例～

- 身体介護①訪問時の検温を行い、着替えや排せつなど、できないことの介助を行います。
(車いすの場合は、移乗・移動介助を行います)
- ②自宅内の戸締り・消灯、デイの準備物などの確認を行います。
(本人が荷物の準備ができない場合、ヘルパーがすることもできます)
- ③デイ職員へ様子を伝え、必要時は玄関の鍵を閉めます。

※状況・状態により、上記に加えてモーニングケア（起き上がり介助、朝食準備・配下膳、口腔ケアなど）も可能です。円滑にデイへ出かけられるよう、ヘルパーがお手伝いします。

ひきこもり家族のつどい

- ◆日時：12月26日(木)
午後1時～4時 申込不要
- ◆場所：みんなのいえ 時間内
出入り自由
(赤穂市塩屋656-17)
- ◆対象：ひきこもり状態にある方の家族
- ◆参加費：無料
- ◆問合せ：下記までお問合せください。



心配ごと相談所のご案内

市民の皆さまの日常生活のあらゆる不安や悩みごとの相談に応じます。一般相談・弁護士相談・こころの相談について、どれを選べばよいか分からないという時は、担当者よりご案内させていただきます。

- 【一般相談】 12月25日(水)・1月8日(水)
午後1時30分～4時
- 【弁護士相談】(前日まで要予約)12月18日(水)
- 【カウンセラーによるこころの相談】
(前日まで要予約)
12月25日(水)・1月8日(水)

◎弁護士相談とこころの相談は午後1時～5時
◎相談無料
下記までお問合せください。

賛助会費ありがとうございました

- 【個人】岡田 勲 岡田喜美世 (敬称略)
山本 吉広 匿名1名
- 【法人】(有)Koji建設
スイーツ+カフェプリエール

- 福祉の拠点をみんなで支えてください。**
- ◆法人会費：5,000円 ◆一般会費：500円
 - ◆個人会費：2,000円



賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

—あなたのやさしさを善意の窓口へ—

善意銀行だより

あたたかい善意を
ありがとうございました

預託状況 (10月29日～11月25日受付分)



●委任預託〈敬称略〉

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
—	匿名	3,000	車いす借用御礼
東 浜 町	二宮 紀秀	1,000	福祉のために

ちよつと
いらい話

◎娘と孫たちが遊びに来ていたその日、小学校1年生の孫の歯が抜けました。机の上に置いていたのに帰るときに見てみると、無くなっています。ソファの下、敷物の下、みんなで大搜索。孫が泣き出すまで、3秒前！そのとき「そうだーさつきクッキー食べた後、掃除機をかけたよ」と。我が家の掃除機を調べたら、ホコリの中から、ホコリだらけの小さな白い歯を発見し、一安心しました。歯が抜けると屋根に投げていたのは昔の話で、今は大事に取っておくのだそうです。

(かすみ草)

『ちよつと』募集

(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかでご応募ください。200字程度にまとめてください。
※送付先は、下記をご覧ください。

12月1日～20日 歳末たすけあい運動

～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

「歳末たすけあい運動」は、地域住民やボランティア、まちづくり連絡(推進)協議会などの関係機関・団体の協力のもと、誰もが地域で安心して暮らし、あたたかい気持ちで新年を迎えられるよう、住民の参加や理解をいただきながら、福祉活動を重点的に展開するものです。今年も皆さまのご協力をお願いいたします。

三世代交流事業

高齢者と子ども、親など三世代が交流する事業を支援します。



三世代交流もちつき大会

もちつき大会などを実施し、おもちゃなどを持って、対象者世帯を訪問します。



※写真はすべて前年度



歳末たすけあい運動で寄せられた募金は、上記事業のほか、「友愛訪問」「要保護・準要保護世帯児童生徒お年玉」「養護老人ホーム・児童福祉施設・障がい者福祉施設(市内)入所者たすけあい金」「赤穂精華園・さくらこども学園教材費」「生活困窮者支援」「ひとり親家庭ランドセル購入助成」「ひとり親家庭中学入学時学生服等購入助成」などの事業へ配分されます。令和6年度は750万円を目標にしています。

編集後記

先日、一家全員が体調の悪い時がありました。体調が悪いといっても、娘はいつもどおり歌って踊って元気いっぱい。ふと「誰かが体調悪い時は、家族がワンチームにならないと」と話をしました。娘は「ワンチームちがうで。ネコチームやで」と返ってきて、妻とずっこけました。幼稚園では、猫チームだそうで間違っていないなど。そんな娘は、今月17日で5歳。お誕生日おめでとう。(あ)

ご意見・問合せは

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397 FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

(音声版をホームページに掲載しています。ぜひお聞きください！)

ホームページ
公式SNSも
ご覧ください！



Facebook



Instagram



赤穂市社協

検索